

□要請番号 (JL01225B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィリピン	A204 防災・災害対策	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2026/1・2026/2・2026/3



YouTubeチャンネル

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

経済企画開発省ボランティア調整局

2) 配属機関名（日本語）

国立ドン・マリアノ・マルコス記念大学

3) 任地（ラ・ウニオン州バクノタン町）JICA事務所の所在地（マニラ首都圏マカティ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約6.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

同大学は1960年に農業高校として設立、その後1974年に国立大学として認可されました。州内に3つのキャンパスを有し、敷地面積は1,120ヘクタールにも及びます。自然豊かな立地を生かした養蜂、養蚕、水産などの研究施設を有する他、情報工学、教育、工学部、農学部、アグロフォレストリー学部といった学部も設置されています。この広大な3つのキャンパスの学生ならびに地域住民の安全と秩序を守るために、2020年、災害危機軽減管理ユニットが設立されました。3つのキャンパスの学生数は約23,000名、スタッフ数は約1,800名の規模です。1980年代からこれまでに22名のJICA海外協力隊員派遣実績があります。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は1,120ヘクタールの敷地を有し、北部のキャンパスは山間部に位置しているほか、中央、南部のキャンパスは海拔が低く沿岸に近い立地であることから、自然災害が懸念される環境にあります(過去には、北部キャンパスの一部が土砂崩れ被害を受けた経緯あり)。そのような背景から、地域の災害危機軽減管理事務所とも協力し、大学災害危機軽減削減ユニットが設立されました。これまでに、災害リスクの評価、標準避難手順の作成、地震に備えた避難訓練、スタッフや学生への緊急時のトレーニングなどを実施してきましたが、さらに自然災害への備えを充実させるため、当要請に至りました。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

同僚スタッフならびに3つのキャンパスの防災担当者と、下記の活動を行います。

- これまで作成された災害リスク管理戦略やリスク評価、地域防災計画、避難計画の見直しのための支援
- 防災担当者や職員、学生、地域住民を対象とした、避難訓練や、災害時訓練の策定支援、ならびに訓練の実施(応急手当訓練も含まれる)

- キャンパスごとに想定される災害リスクに対応した、防災意識を高めるための啓発活動への支援
- 緊急対応のために必要な機材選定へのアドバイスや、使用方法の訓練の実施
- 必要に応じ、地域の災害危機軽減管理事務所主催の訓練に参加、大学関係者への訓練に応用することも期待される

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

無線機、PC等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

男性3名(30~40代、防災担当の経験は約10年)ならびに各キャンパスの防災担当者

活動対象者:

大学職員(約1,800名)、学生(23,000名)、地域住民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : () 備考 :

[性別] : () 備考 :

[経験] : (実務経験) 2年以上 備考 : 活動に必要なため

[参考情報] :

- ・災害対策活動の運営・実施経験が必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (熱帯モンスーン気候) 気温 : (25 ~35°C位) [電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可) [水源] : (安定)

【特記事項】

学生を対象とした、文化交流イベントへの協力も期待されています。
最寄りの医療施設があるクラーク市までは、公共交通機関で4時間要します。

【類似職種】